明石市立錦城中学校
2019年度
第1学年
75回生

タイム
大夢

2019年10月31日
第40号

2学期中間テストの振り返り

先生たちの２学期中間テストの振り返りをまとめました。みんなは、テスト直しをしていますか。返却されたら、点数を見て、そのままになっていませんか。自分の間違いを分析し、なぜ間違えたのかを考え、もう一度解いたら、１００点になるぐらいまで、完璧にしておきましょう。それが次につながっていきます。テストの範囲は変わります。ですが、３年生になったとき、入試に対応するためには、１年生で学んだことは必ず必要になります。学んだことを自分の知識として定着させておきましょう。

１年生は「１年間に７回のテストがある」と、１学期の中間テストの振り返りで伝えました。今、そのうちの４回が終わりました。**テストは残り３回です**。後半戦です。自分のテストへの取り組みはどうですか。有意義なものですか。少しずつ緊張感がなくなり、テスト前も勉強に集中できていない人がいます。逆に、自分の勉強方法を見つけ、どんどん力をつけてきている人もいます。あなたはどちらでしょうか。「次、がんばる」ではなく、今から努力を始めてください。**期末テストは１１月２７日～２９日です。**　***Do your best!!***

社会　＜田沼先生＞

記述問題に対する答えの書き方で減点されている人が多くいました。（記述問題は近年の兵庫県公立高校の入試問題には出題されていませんが、学んだことを文章で表現する力は必要な力です。）記述問題の答え方のポイントは、何を問われているかということを整理し、問われていること全てに答えることが必要です。例として、「なぜ、鎌倉に幕府が開かれたのか？」という問いに対して、「三方が山に囲まれ、一方が海に面しているから」という答えでは△です。「そのため、防御に優れている。」「そのため、敵の攻撃を防ぐことができる。」など理由が必要となります。問題をよく読んで、授業で学んだことを整理して、書きましょう。また、思考・判断・表現を問う問題は授業で学んだことの応用も出題しています。

期末テストは、安土・桃山時代と江戸時代が範囲となります。縦のつながりと横のつながりも意識して学習していきましょう。期待しています。

英語　＜林田先生＞

テスト勉強をしっかりした人とそうでない人とで、差がでてきたように思います。必ず出題すると言った、人称代名詞が書けない人は努力不足です。定期テストの対策では、書く練習をしっかりしなくてはいけません。そして、英語は読めなくては書けません。読みながら書く練習をしましょう。中間テストでは、人称代名詞、命令文、複数形とこれから英語を学ぶ上での基礎となる文法事項が範囲でした。間違えたところを復習しておいてください。人称代名詞は期末テストの範囲にも入ります。

英語は急には、できるようにはなりません。コツコツ努力し続けることが大切です。「継続は力なり」復習を大切にし、期末テストに備えてください。

国語　＜米谷先生＞

テスト返却の際にも確認をしましたが、質問に対する適切な答え方が重要です。答えたい内容が正しく分かっていても、答え方が間違いである限り正解にはなりません。その答え方を正しく書くためには、問題をしっかりと読み、どのように質問されているのかという質問の意図を正しく理解することが大切です。質問の意図にある解答が出来るように心がけましょう。

定期テストは小テストの延長線です。日々の授業やノート・ワークをしっかりと確認できていればしっかり問題は解けるように出来ています。次のテストに向けて、日々の授業を大切にし、テストの前にはノート・ワークをしっかり確認するようにしましょう。

理科　＜平木先生＞

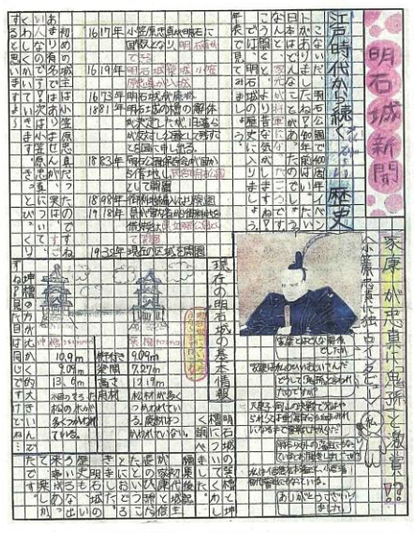
「気体の性質」の内容では、物質の性質が正確に覚えているかの確認問題でした。アルカリ性の物質、弱い酸性の物質、水に溶けやすい物質など、それぞれ特徴的な性質を覚えておくようにしましょう。また、気体の発生では、酸素や二酸化炭素は発生させる方法がそれぞれ２つずつあったので、しっかり復習しておくようにしましょう。思考問題は、計算問題にまだ慣れていなかったのか、正答率が悪かったです。密度や質量パーセント濃度の基本的な計算方法を覚えて、期末考査では活用できるようになっておきましょう。

数学　＜林先生＞

2や3、8など問題文が少し長くなると、最後まできちんと読まずに、「きっとこういう意味だろう」と勝手に決めて、技術的には解ける問題を得点できていない人が多く見られました。宿題をするときも、授業で問題を読むときも、きちんと意味をとらえられるよう、手を抜かず、問題文を読むようにしましょう。また、間違えた問題にこそ、ステップアップするもとが詰まっています。自己評価シートを有効に活用して、間違い直しをしている人は、自分のミスするポイントを知り、見直しに活かすことで、確実に得点を伸ばしてきています。

P130までのリピートの提出が滞っている人は、まず、テスト前にテスト範囲のリピートを取り組んでから、受けるようにしましょう。提出点以上に点数が上がるはずです。

みんなの　神戸新聞明石地区販売店
新聞づくりコンテスト



【最優秀賞】錦城中1年　野津柚乃さん
築城400年に合わせ、明石城初代城主・小笠原忠真の"独占インタビュー"を特ダネ掲載。徳川家康との関わりを上手に紹介した。

新聞づくりコンテスト
入賞・入選作を展示
1～4日、勤労福祉会館

明石市内の小中学生が手作りした新聞を集めた「みんなの新聞づくりコンテスト作品展」（神戸新聞社など後援）が11月1～4日、市立勤労福祉会館1階ギャラリー（相生町2）で開かれる。

コンテストは、情報収集や表現方法の工夫などを通じて知的好奇心を育んでもらおうと、明石市内の神戸新聞販売店などでつくる実行委員会が毎年開催している。

今年は小学4年生以上と中学生から約3200点の応募があった。審査を通過した入賞・入選作計312点を展示する。

最終日の4日午後2時から、入賞者を対象にした表彰式がある。神戸新聞大久保専売所☎078・935・4710

◆

明石版で優秀作品の一部を随時掲載します。

２０１９年
１０月
３０日（水）
神戸新聞
【朝刊】
←
来年の夏休みはどのような作品に挑戦しましょうか？

みんなの新聞づくりコンテスト

１０月２９日（火）の学校だよりで紹介されていましたが、社会科の夏休み課題「歴史新聞」の入賞・入選作品が決まりました。勤労福祉会館で展示があります。（入賞者は表彰もあります。）